

令和6年10月21日

職員各位

市長

### 令和7年度予算編成における基本的な考え方

私が市長に就任して、間もなく3年となります。この間、新型コロナウイルスのまん延による社会経済活動の停止と5類移行後の急速な回復、ロシアのウクライナ侵攻に端を発するエネルギー価格やそれに続く様々な物価の高騰などに対する市民への支援、また、短時間局地的大雨や台風といった自然災害への対応など、非日常的な事態が日常化する中、安全・安心な市民生活の確保のために、日々業務取り組まれている職員の皆さんに対し、改めて感謝いたします。

いよいよ、令和7年度の予算編成が始まります。これまでどおり、本市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」に掲げる、「未来創造」、「魅力創造」、「幸せ創造」の3つのリーディングプロジェクトに紐づく主要事業に重点的かつ優先的に取り組み、本市のあるべき姿の実現を推進するのはもちろんですが、前期基本計画期間の後半に突入する3年目を迎えることから、アクションプランに位置付けた政策的事業や、公共施設及びインフラの整備・維持更新など、事業のこれまでの成果や今後の在り方などを客観的に評価しながら進めください。

また、令和7年度は、長山地区義務教育学校の整備が本格化することに加え、公共施設やインフラの老朽化対策への継続的な取り組みも併行して進めていく必要があります、普通建設事業費は大きく膨らむ見込みです。

これらの事業を推進し、将来にわたって持続可能なまちを築いていくための財源を確保するには、柔軟な発想による新たな財源の創出や、公共施設の全体最適化による維持管理費の縮減などの歳出削減などの収支改善の取り組みを、中長期的視点をもって実施していくことが求められます。

そのためにも、職員の皆さん一人ひとりが、前例に捕らわれることなく、その知見やアイデアを結集し、あらゆる施策・事業を通じて、市民のために何ができるか、それらを市民に納得・共感していただけるかを常に考えながら、使命感をもって業務に邁進してください。

職員の皆さんのため、ご家族の皆さんのためにも、心身ともに健康に十分留意され、ご活躍いただけるよう祈念いたします。